

平成 11 年 5 月 31 日
日 本 銀 行
情 報 サ ー ビ ス 局

「生活意識に関するアンケート調査」(第 8 回)の結果

(はじめに)

日本銀行では、政策・業務運営の参考とするため、本店や支店を通じた広報活動のなかで、国民各層の意見や要望を幅広く聴取するよう努めていますが、その 1 つの手法として、平成 5 年以降、全国 20 歳以上の男女個人 4,000 人を対象に「生活意識に関するアンケート調査」を実施しています。この調査は、日本銀行が四半期ごとに行っている「企業短期経済観測調査(短観)」のような統計指標としての調査ではなく、生活者の意識や行動を大まかに窺う一種の世論調査です。

(調査概要)

- ・調査実施期間...平成 11 年 3 月 19 日(金)~3 月 29 日(月)
- ・調査対象...全国の 20 歳以上の男女個人
- ・標本数...4,000 人(有効回答者数 3,147 人<有効回答率 78.7%>)
- ・抽出方法...層化 2 段無作為抽出法
- ・調査方法...設問票によるアンケート調査(訪問留置法)

(調査結果の概要)

1. 景気についての極端に悲観的な見方は後退 (D.I. < 「良くなっている」 - 「悪くなっている」 >、前回調査比 + 26.3%ポイントの好転)。ただ、家計を取り巻く収入・雇用環境の厳しさは依然存在しており、この結果、D.I.の水準自体は 51.5%と、9年3月調査 (消費税率引上げ、金融システム不安の直前) のレベルに戻っていない。
2. 1年前に比べて支出を「減らしている」人は引き続き4割強存在。支出D.I. (「増やしている」 - 「減らしている」) は漸く下げ止まりつつあるが、景況感ほどの改善には至っていないのが実情。こうした個人の支出抑制スタンスは、将来不安に対する予防的なものに止まらず、現実の収入減への対応といった色合いがさらに濃くなっている。

< 景況感D.I.および支出D.I.の推移 (%) >

	8年3月 調査	9年3月 調査	10年3月 調査	10年11月 調査	今回調査
景況感D.I. (前回比)	-23.0	-30.2 (-7.2)	-70.5 (-40.3)	-77.8 (-7.3)	-51.5 (+26.3)
支出D.I. (前回比)	-38.4	-16.7 (+21.7)	-34.7 (-18.0)	-36.0 (-1.3)	-35.8 (+0.2)

3. 預金保険制度を知っている人は、引き続き全体の6割弱 (ただし、「内容まで知っている」とする人の割合は上昇し、認知の度合いは高まっている)。一方、預金者保護のための同制度の特例措置を知っている人は全体の5割弱だが、特例措置の期限まで知っている人は同2割に止まっている。
4. コンピュータ西暦2000年問題について、全体の半数を超える人が不安を感じており、不安を感じている分野としては「情報・通信」に次いで、「金融取引」が多くなっている。

以 上

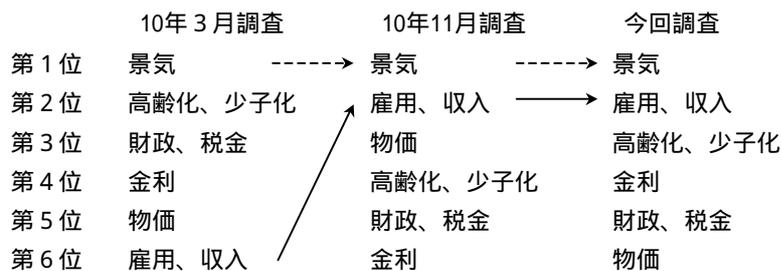
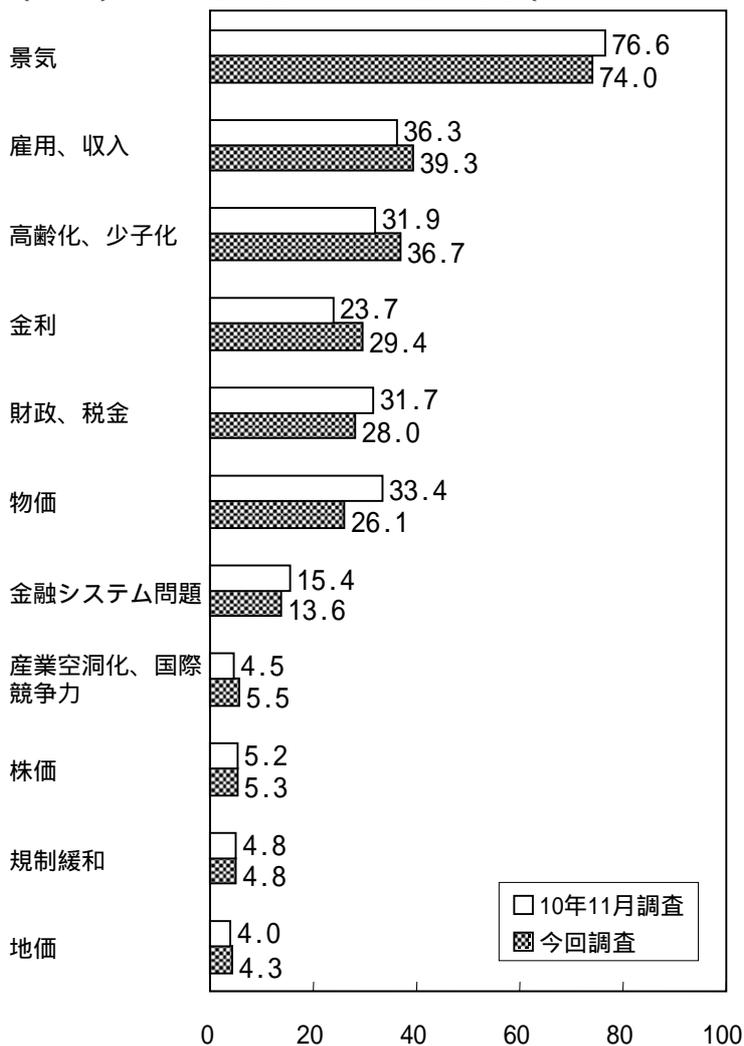
（個別結果）

構成比は小数第2位四捨五入。このため、図表での構成比の合計が100にならないことがある。

現在関心を持っている経済問題

引き続き「景気」、「雇用、収入」に対する関心が高い。前回調査（10年11月。以下、特に記さない限り同じ）に比べると、「財政、税金」、「物価」に対する関心が低下する一方で、「高齢化、少子化」、「金利」に対する関心が高まっている。

（図表）現在関心を持っている経済問題（%、3つまでの複数回答）



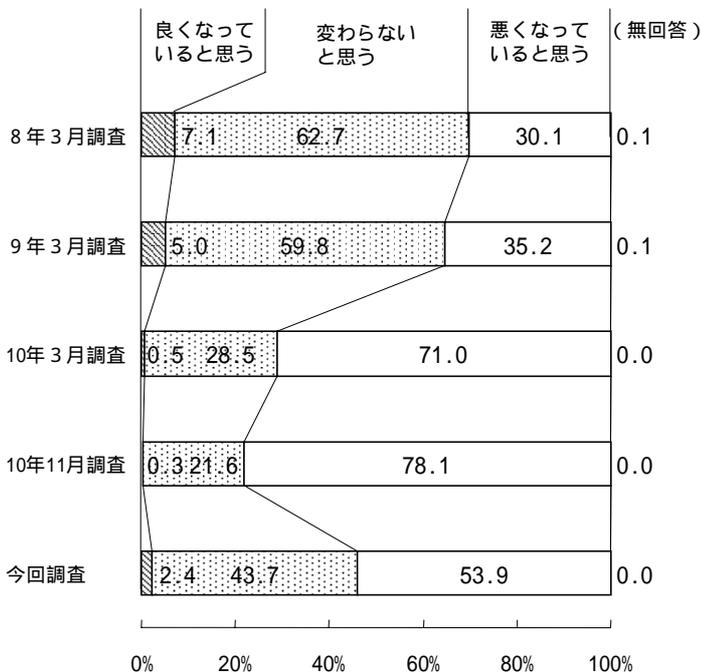
景況感

1年前に比べて景気が「悪くなっている」との回答は依然として他の回答を上回っており、D.I.（「良くなっている」 - 「悪くなっている」）の水準は 51.5%と、未だ9年3月調査以前のレベルに戻っていない。ただ、前回調査比でみると、景況感D.I.は+26.3%ポイント改善。1年後の景気については、現在と比べて「良くなると思う」との回答が前回調査比増加し、「悪くなると思う」との回答とほぼ均衡（「変わらないと思う」との回答<すなわち、今後1年間、景気は横這いとの見方>が最も多い）。

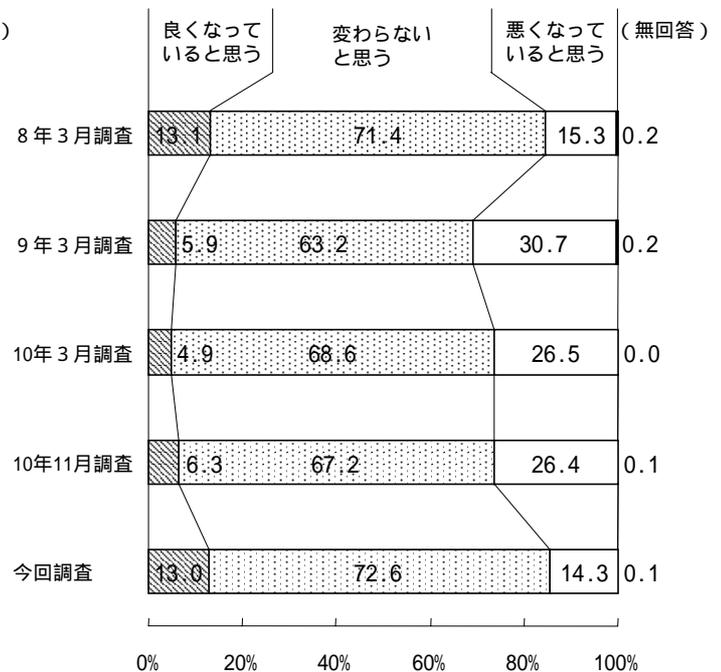
景気が悪くなっていると回答した人の受け止め方については、「不景気はこれまで経験したことがないくらい深刻であり、企業の自助努力などでは限界がある」が減少する一方、「企業の努力により、景気は時間が経てばいずれ良くなると思う」が増加。

(図表) 景況感・前年比 (%)

< 現在 >



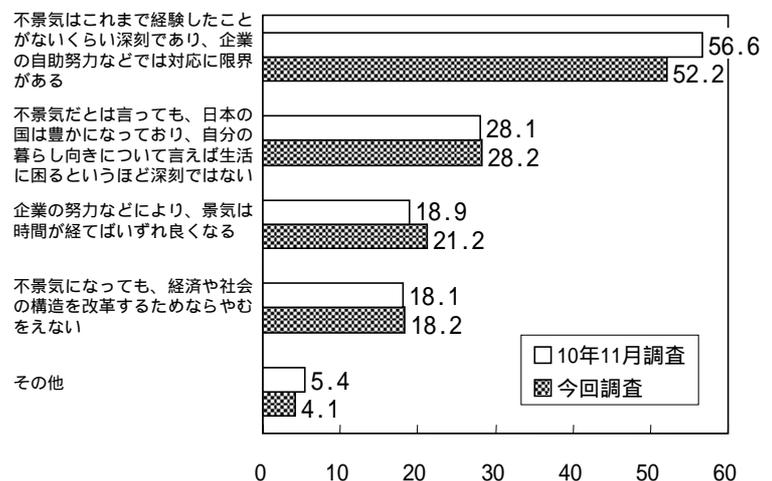
< 1年後の予想 >



< D.I. の推移 >

	8年3月調査	9年3月調査	10年3月調査	10年11月調査	今回調査
現在	-23.0	-30.2	-70.5	-77.8	-51.5
(前回比)		(-7.2)	(-40.3)	(-7.3)	(+26.3)
1年後の予想	-2.2	-24.8	-21.6	-20.1	-1.3
(前回比)		(-22.6)	(+3.2)	(+1.5)	(+18.8)

(図表) 景気が「悪くなっている」と回答した人の受け止め方 (%、複数回答)



景気判断の方法別にみた景況感

景況感D.I.を“景気判断の方法”別にみると、「勤め先や自分の店の経営状況から」、「自分や家族の収入の状況から」と回答した人の景況感は全体平均比厳しめとなっている。これに対し、「マスコミを通じて」、「景気関連指標、経済統計を見て」と回答した人では、D.I.が大きく改善しており、これまでのマスコミ報道・景気指標等を通じた過度に悲観的な景気判断は後退している様子が窺われる。

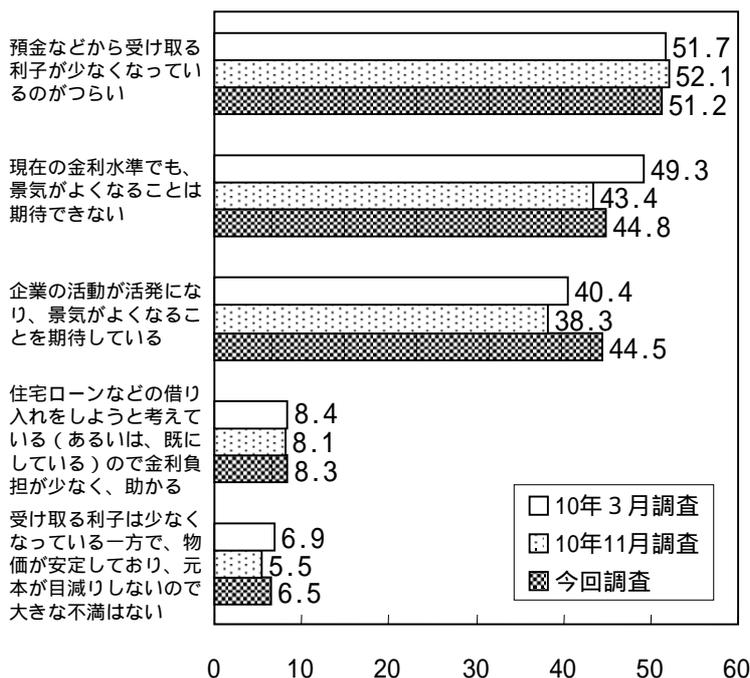
(図表) 景気判断の方法別にみた景況感D.I.(%)

		景況感D.I. (「良くなっている」-「悪くなっている」)			
		10年11月		今回	
			前回差		前回差
全体(再掲)		-77.8	-7.3	-51.5	26.3
景気判断の方法	「勤め先や自分の店の経営状況から」と回答	-85.2	-4.0	-62.4	22.8
	「マスコミを通じて」と回答	-80.4	-7.7	-47.7	32.7
	「自分や家族の収入の状況から」と回答	-76.0	-12.0	-57.6	18.4
	「商店街、盛り場などの混み具合をを見て」と回答	-78.7	-2.4	-55.1	23.6
	「景気関連指標、経済統計を見て」と回答	-85.7	-4.2	-51.5	34.2
	「なんとなく漠然と」と回答	-34.7	3.1	-12.5	22.2

低金利の受け止め方

「預金などから受け取る利子が少なくなっているのがつらい」とする人は全体の約半数。

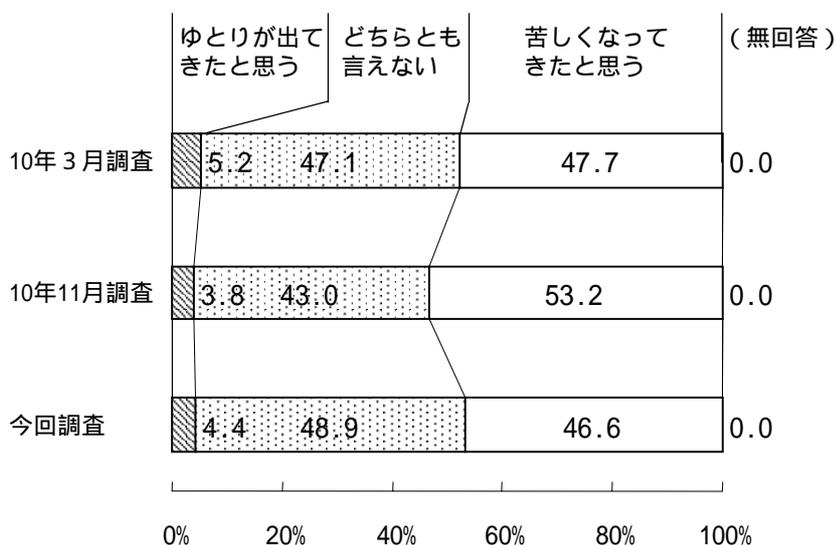
(図表) 現在の低金利の受け止め方(%, 2つまでの複数回答)



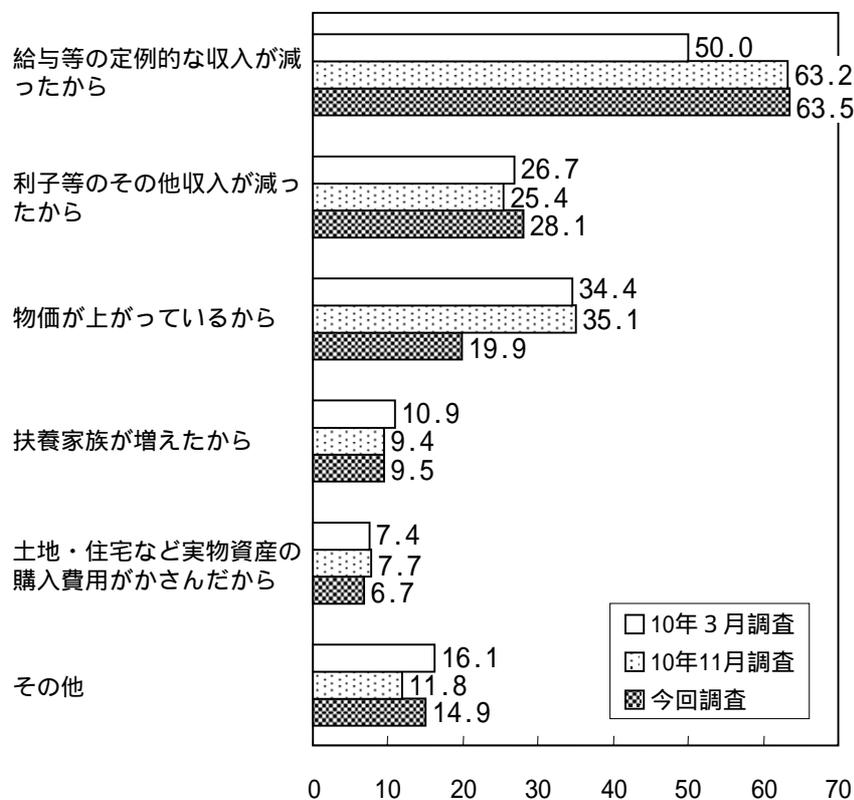
現在の暮らし向き

1年前に比べた個人の暮らし向きについては、「苦しくなってきた」との回答減少から前回調査比改善。暮らし向きが「苦しくなってきた」とする人の判断理由としては、引き続き「給与等の定期的な収入が減ったから」が最も多い（前回調査比では「物価が上がっているから」が大幅に減少）。

（図表）現在の暮らし向き（％）



（図表）暮らし向きが「苦しくなってきた」と考える人の判断理由（％、複数回答）



収入、雇用環境

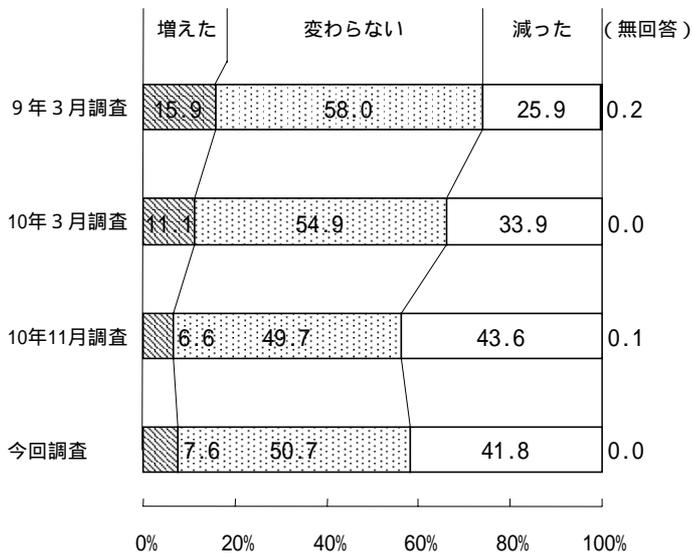
前回調査に引き続き、4割超の人が1年前に比べて収入は「減った」と回答。「増えた」と回答した人は1割を割り込んだまま推移している。また、今後1年間については、「変わらない」が依然6割強と、収入環境の好転を見込む人は多くない。

この間、勤め人の中で勤め先の雇用・処遇について不安を感じている人は約8割、自営業者の中で自分の事業について不安を感じている人は約9割に達している。

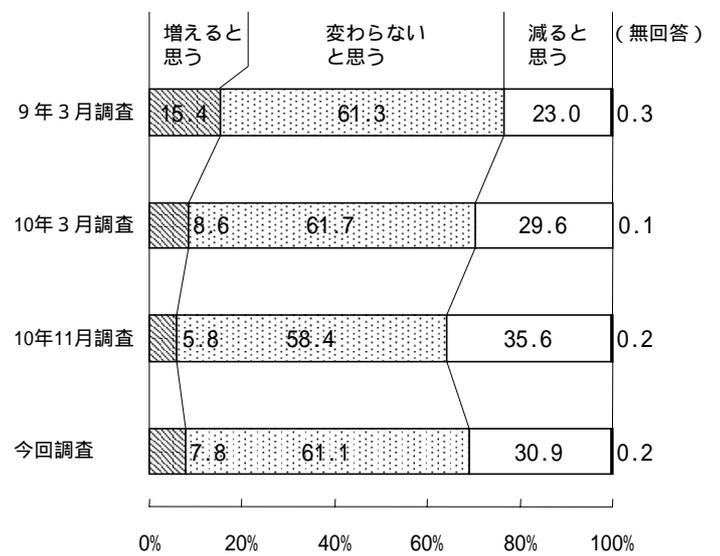
なお、職場での合理化・リストラについては、「ここ1年くらいの間に行われた」ないし「今後行われる予定である」とする人が増加。具体的な内容としては、「給与カットや賃金制度の見直し」が最も多いほか、人員削減（「出向や早期退職勧奨などによる人員の削減」、「新卒採用の抑制」）も増え始めている。

(図表) 収入・前年比 (%)

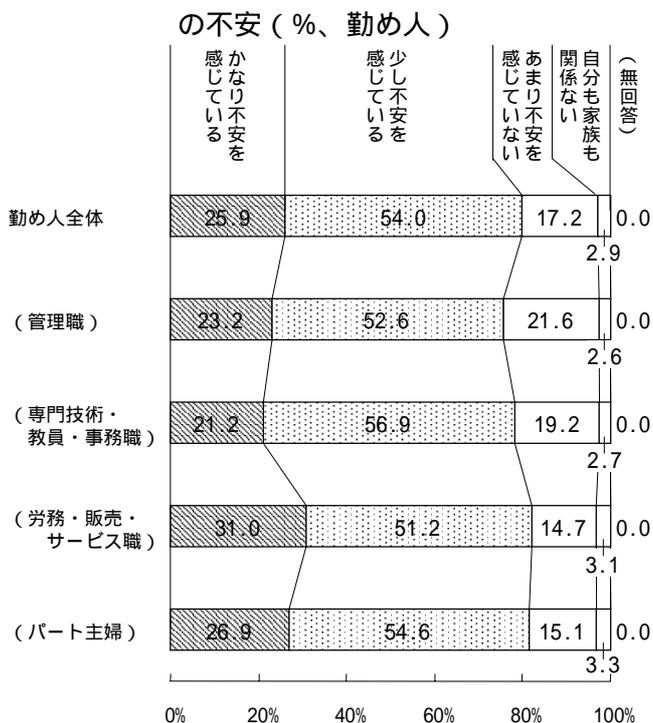
< 現在 >



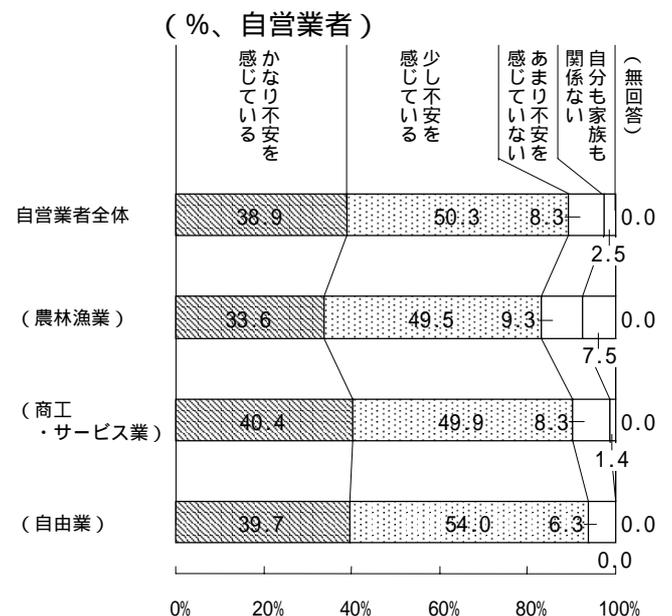
< 1年後の予想 >



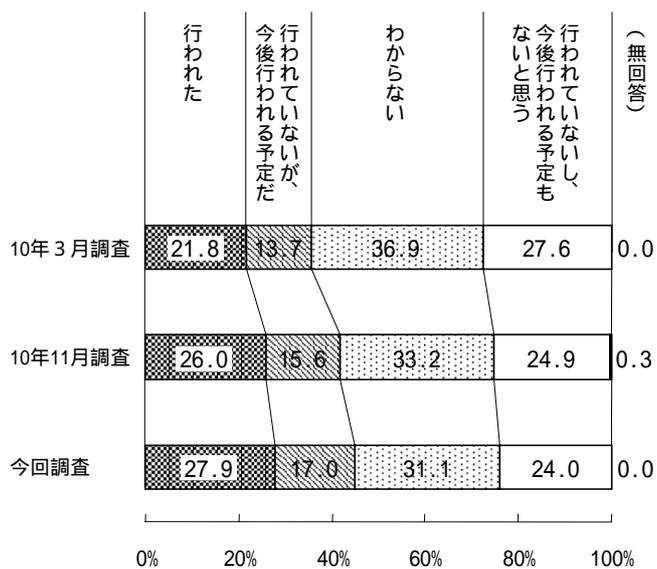
(図表) 勤め先での雇用・処遇についての不安 (%)、勤め人



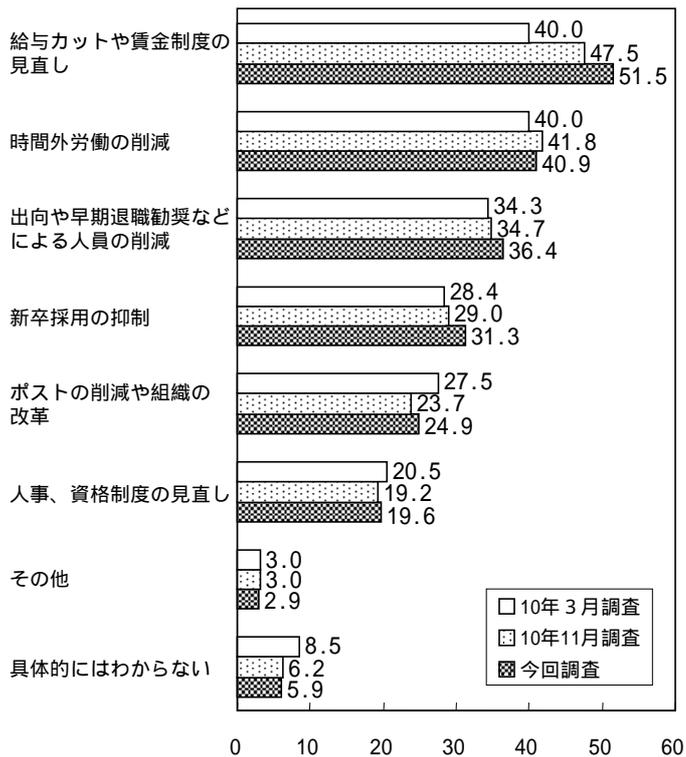
(図表) 自分の事業についての不安 (%)、自営業者



(図表) リストラの実施状況 (%)



(図表) リストラの具体的な内容 (%、複数回答)

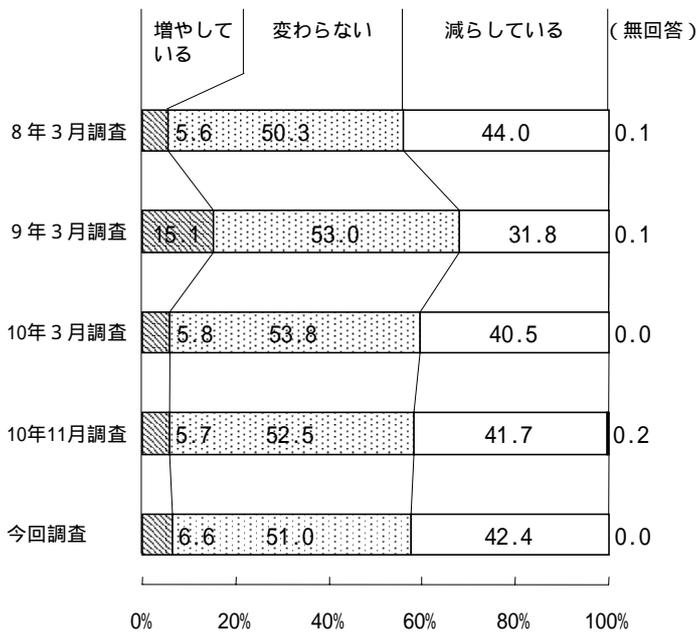


支出

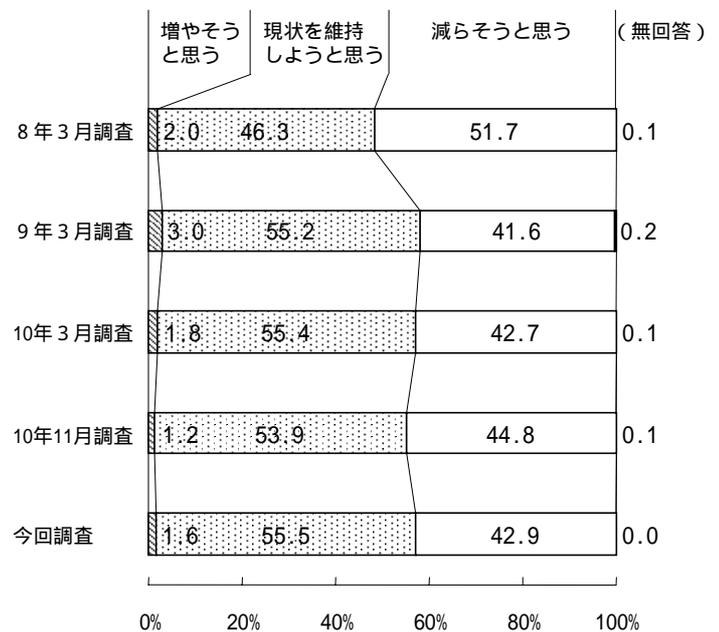
1年前と比べて支出を「減らしている」人は引き続き4割強存在。支出に関するD.I.（「増やしている」-「減らしている」前回調査比+0.2%）は漸く下げ止まりつつあるが、景況感（同+26.3%）ほどの改善をみるには至っていない。このように引き続き支出を減らしている理由としては、「将来の仕事や収入に不安があるから」、「年金や社会保険の給付が少なくなるとの不安から」の2つが多いが、前回調査比ではいずれも若干減少。これに対し、「不景気やリストラ等による収入の頭打ちや減少から」が増加し、前2者に近づいており、支出の削減が将来の不安に対する予防的なものに止まらず、現実の収入減への対応といった色合いがさらに濃くなっている様子が窺われる。

（図表）支出・前年比（%）

< 現在 >



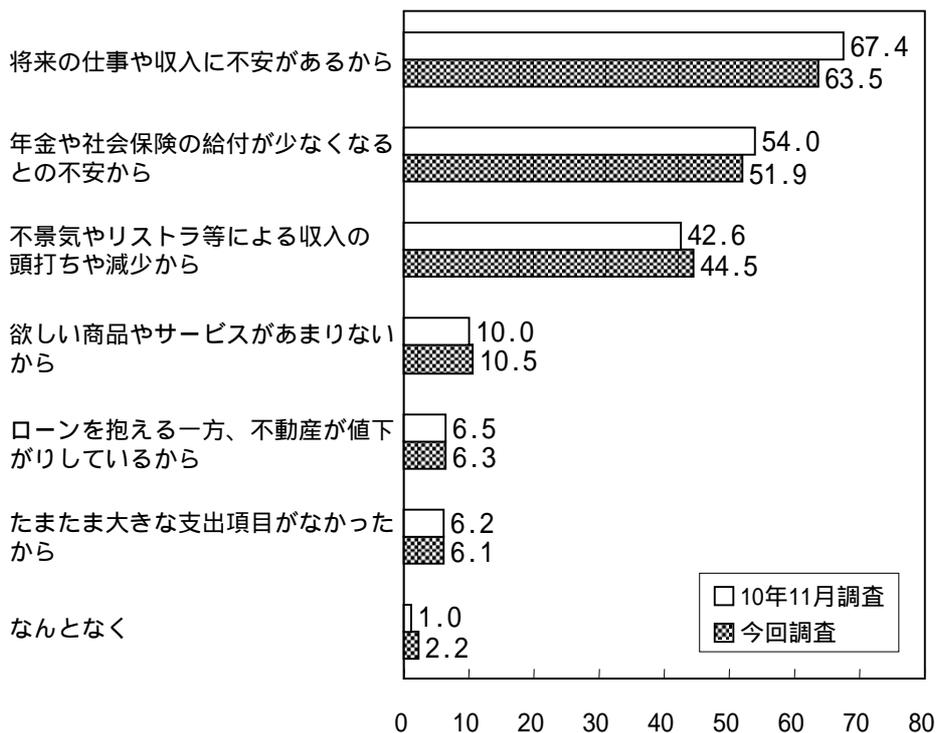
< 1年後の予想 >



< D.I.の推移 >

	8年3月調査	9年3月調査	10年3月調査	10年11月調査	今回調査
現在	-38.4	-16.7	-34.7	-36.0	-35.8
(前回比)		(+21.7)	(-18.0)	(-1.3)	(+0.2)
1年後の予想	-49.7	-38.6	-40.9	-43.6	-41.3
(前回比)		(+11.1)	(-2.3)	(-2.7)	(+2.3)

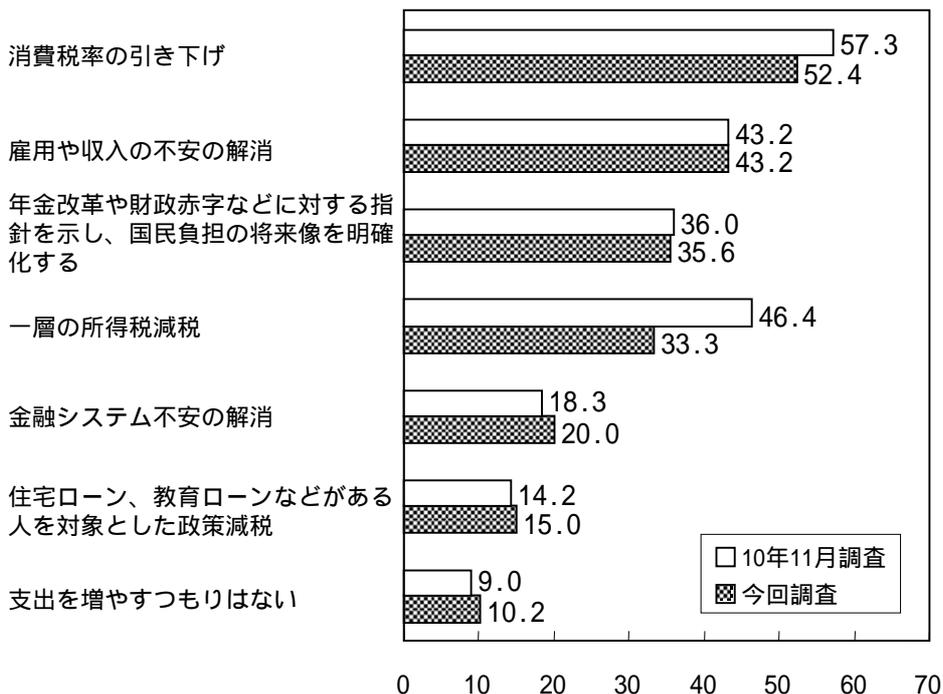
(図表) 支出を減らしている理由(%、複数回答)



支出を増やすための条件

支出を増やすための条件として、税制面での措置を条件に挙げる人は、「一層の所得税減税」を中心に減少している。この間、「雇用や収入の不安の解消」、「年金改革や財政赤字などに対する指針を示し、国民負担の将来像を明確化する」との回答比率は前回調査とほとんど変わっておらず、雇用対策、および中長期的な財政ビジョンの提示を求める声が強い。

(図表) 支出を増やすための条件(%、複数回答)

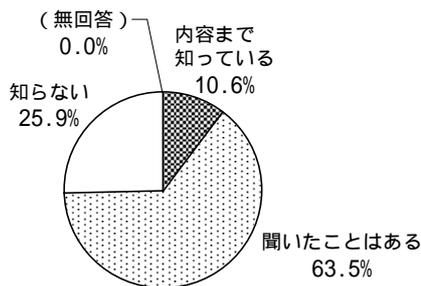


恒久的減税、地域振興券

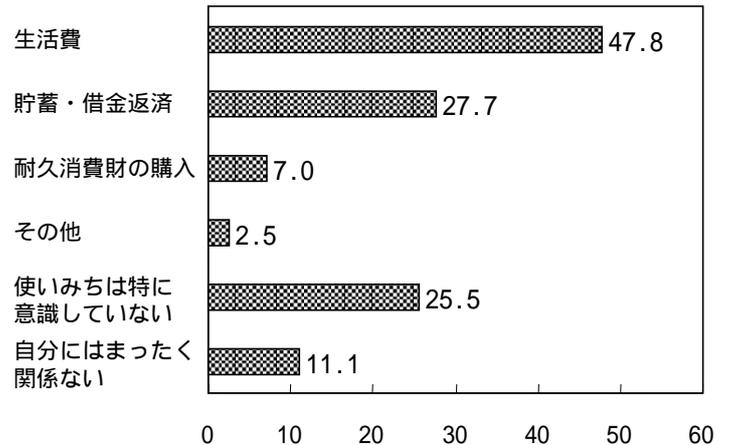
恒久的減税（最高税率の引下げ、定率減税）について知っている人は7割強。知っている人に収入増加分の使いみちを尋ねると、「生活費」が最も多く、次いで「貯蓄・借金返済」となっている。

地域振興券については、配布対象世帯ベースでみると、「もともと購入予定であったものの支払いにあてるだけで、消費支出の増加にはつながらない」との回答が約7割を占めており、使いみちとしては「食料品などの生活必需品」が最も多い（なお、配布対象世帯以外では、約9割が地域振興券の効果に否定的ないし無関心）。

（図表）恒久的減税の認知度（％）

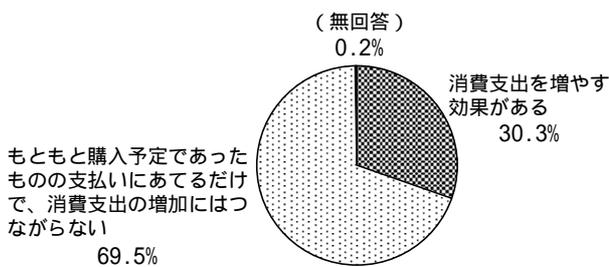


（図表）恒久的減税による収入増加分の
使いみち（％、複数回答）

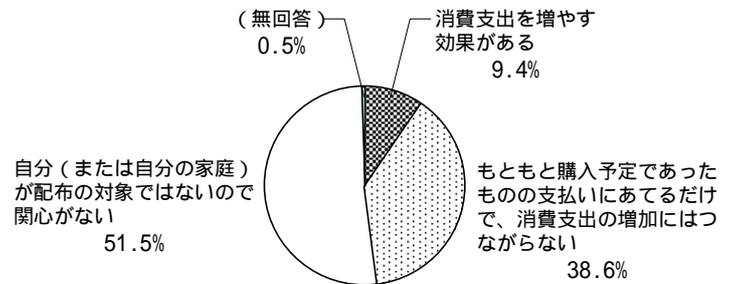


（図表）地域振興券の効果（％）

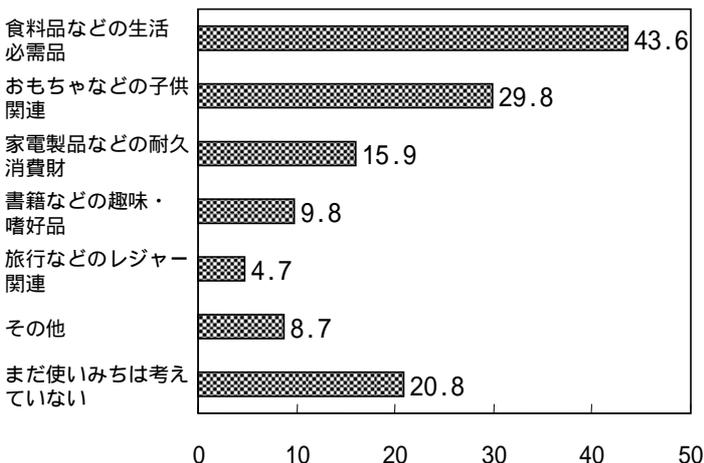
< 配布対象世帯：全体の43.3% >



< 配布対象世帯以外：同56.7% >



（図表）地域振興券の使いみち（％、配布対象世帯、複数回答）



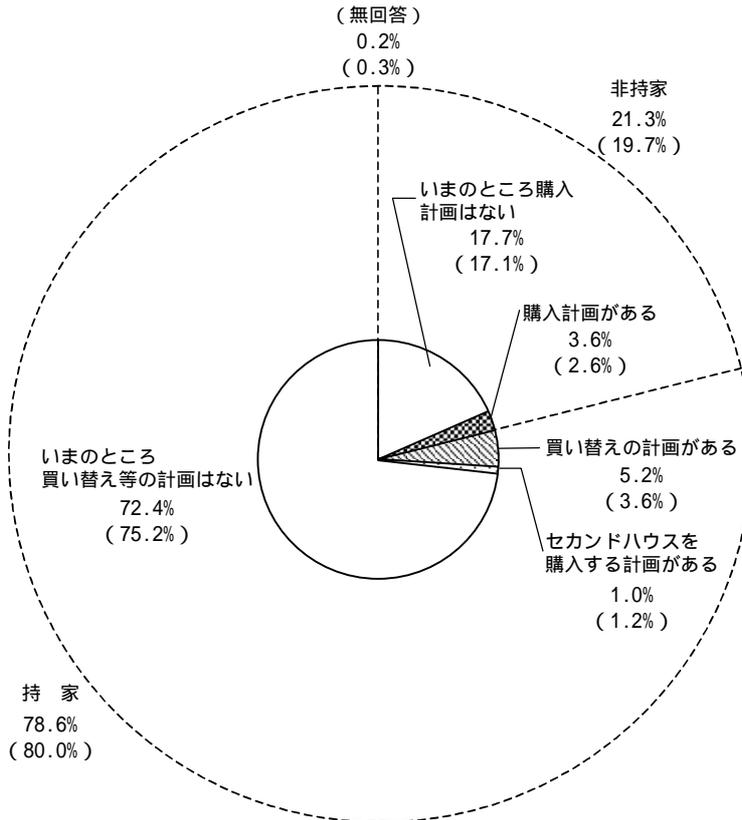
住宅購入

マイホームを購入ないし買い替える計画があるとの回答は、全体の9.8%と前回調査（7.4%）を上回った。

購入・買い替えの計画がある人のうち、住宅ローン減税を知っている人は7割だが、その適用期間中（今年～来年中）に購入・買い替えを計画しているのは約3割で、購入時期については未定とする人が過半数。

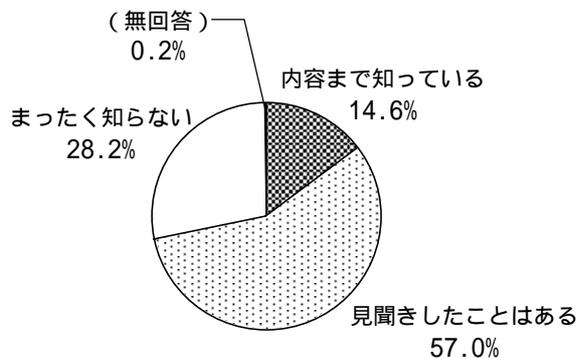
（図表）マイホーム購入・買い替えの計画（%）

カッコ内は10年11月調査。

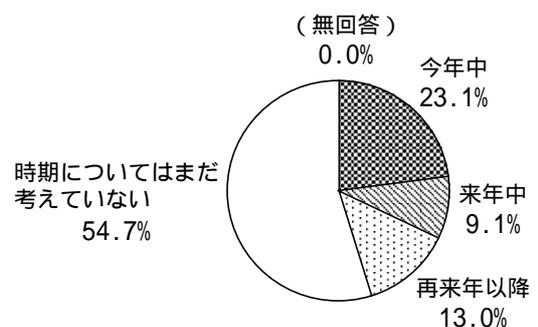


（図表）住宅ローン減税の認知度

（%、購入予定者ベース）



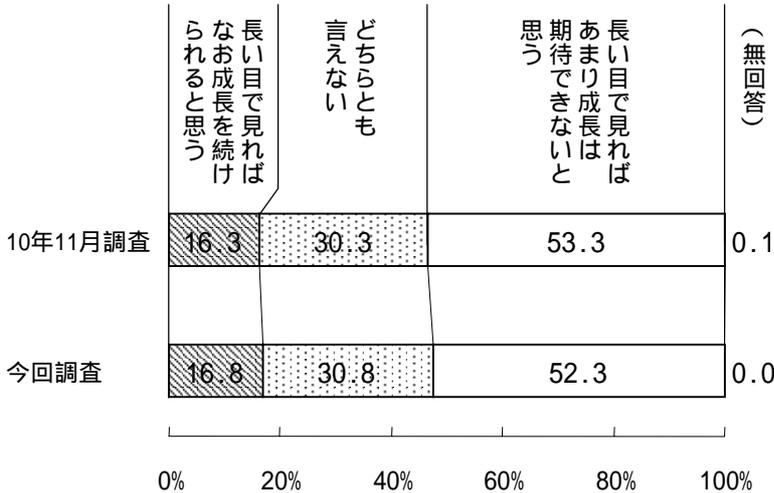
（図表）購入予定時期（%、同左）



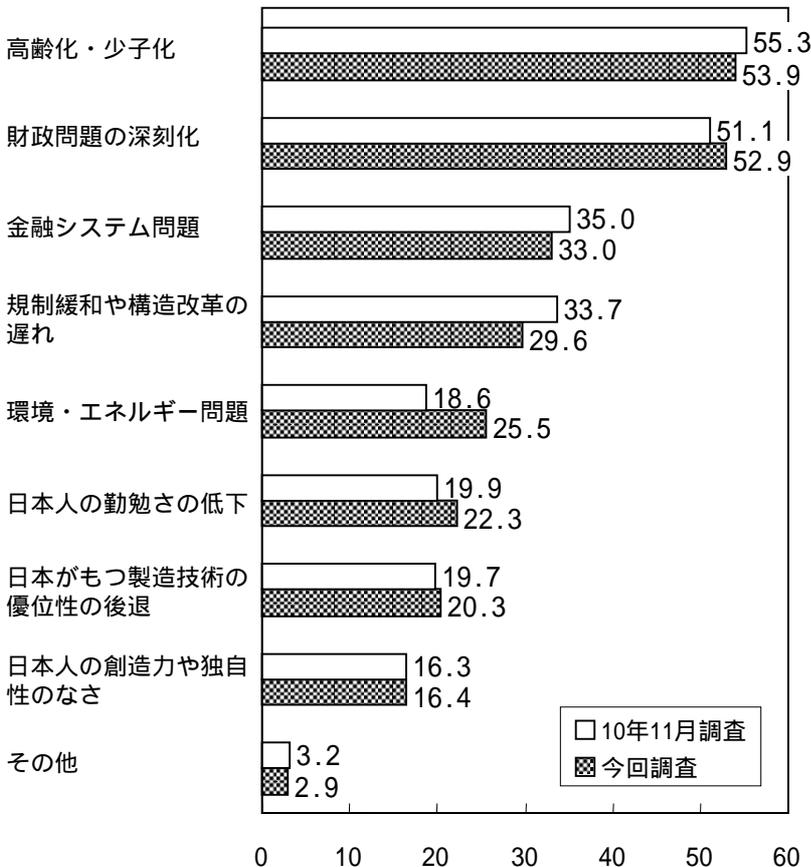
日本経済の成長に対する中長期的評価

日本経済の成長に対する中長期的評価は、依然として「長い目でみればあまり成長は期待できない」との回答が半数を上回っている。成長が期待できない理由としては、引き続き「高齢化・少子化」、「財政問題の深刻化」が多いが、前回調査に比べると、「環境・エネルギー問題」を挙げる人が増えている。

(図表) 日本経済の成長に対する中長期的評価 (%)



(図表) 「成長は期待できない」と考える人の理由 (%)、3つまでの複数回答)

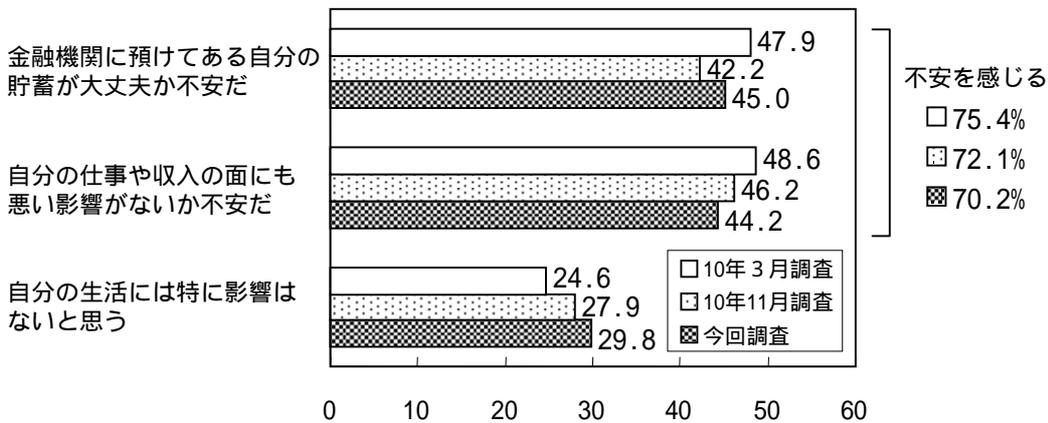


金融機関破綻の受け止め方

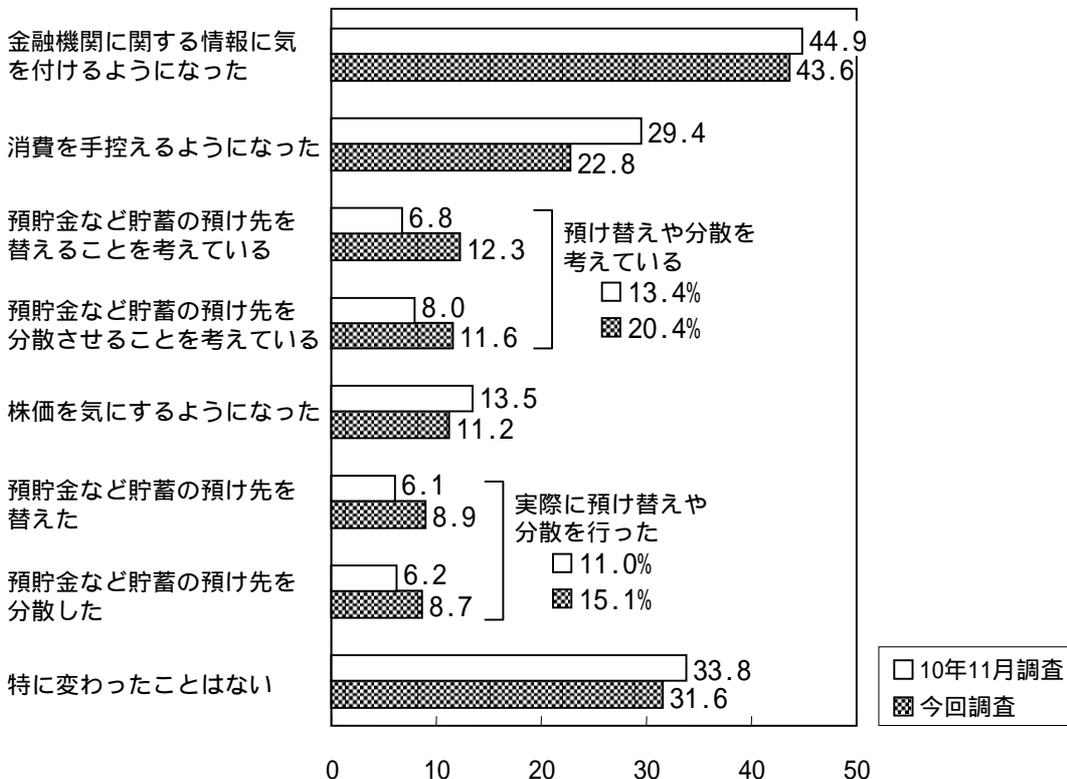
金融機関の破綻に際し、自分の仕事・収入や貯蓄への影響を不安に感じている人は70.2%と、1年前に比べて5%方減少。この間、「自分の仕事や収入の面にも悪い影響がないか不安だ」との回答が減少する一方、「自分の生活には特に影響はないと思う」との回答が増加している。

また、金融不安・金融機関破綻のニュースを聞いて、7割弱の人が「貯蓄や消費に対する意識や行動が変化した」としているが、より具体的にみると「金融機関の情報に気を付けるようになった」との回答が最も多い。前回調査に比べると、「預貯金など貯蓄の預け先を替えた」など直接的な行動・意識変化を示唆する回答が一様に増加している。

(図表) 金融機関の経営破綻に関する受け止め方(%, 2つまでの複数回答)



(図表) 金融不安・金融機関破綻報道による行動や意識の変化(%, 複数回答)



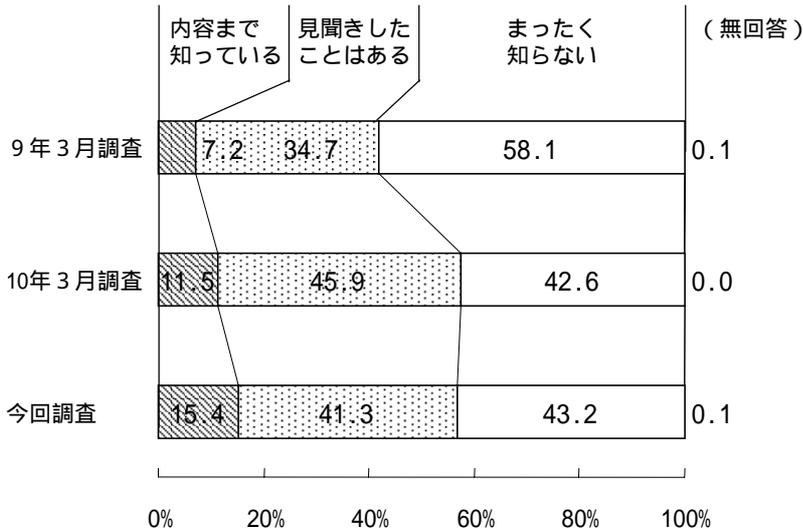
預金保険制度の認知度

預金保険制度の認知度は全体の6割弱で、前回調査（10年3月）とほとんど変わっていないが、「内容まで知っている」とする人は増加した。

また、預金保険制度の特例措置について知っている人は全体の46.9%。ただし、その期限（2001年3月末）についても知っている人は全体の20.0%に止まっている。

なお、世帯貯蓄残高1,000万円以上では、8割弱が預金保険制度を知っているが、特例措置の期限まで知っている人は4割となっている。

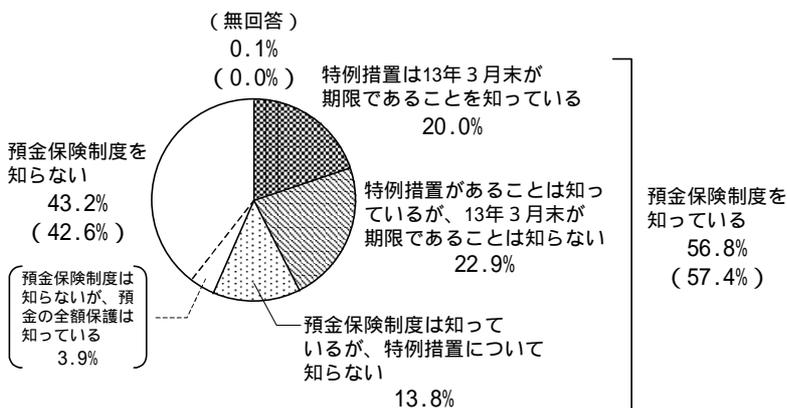
（図表）預金保険制度の認知（％）



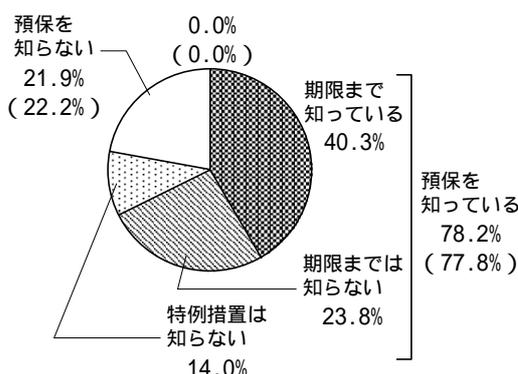
（図表）特例措置とその期限の認知（％）

<全体>

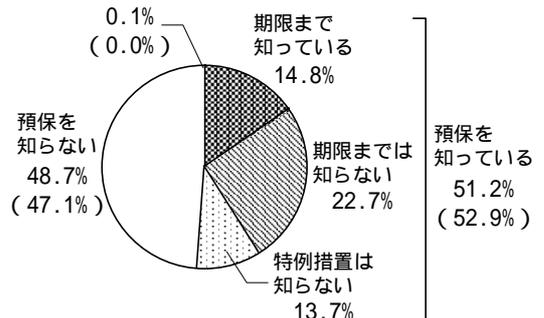
かっこ内は10年3月調査。



<世帯貯蓄残高1,000万円以上>



<同1,000万円未満>



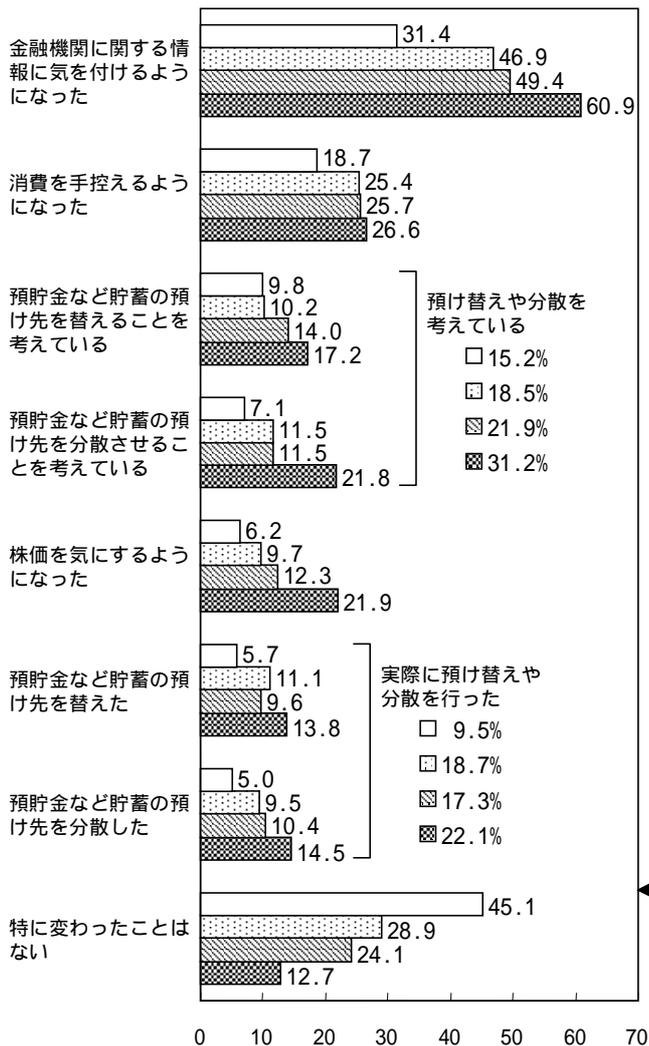
預金保険制度の認知度・世帯貯蓄残高別にみた行動や意識の変化

預金保険制度の認知度別に、金融不安・金融機関破綻報道による行動・意識の変化をみると、預金保険制度について具体的に知っている人ほど、預け替えなど具体的に行動している割合が高い。特に、特例措置の期限を知っている人では半数以上（51.7%）が、実際に預け替えや分散を行った（22.1%）ないし、預け替えや分散を考えている（31.2%）と回答。

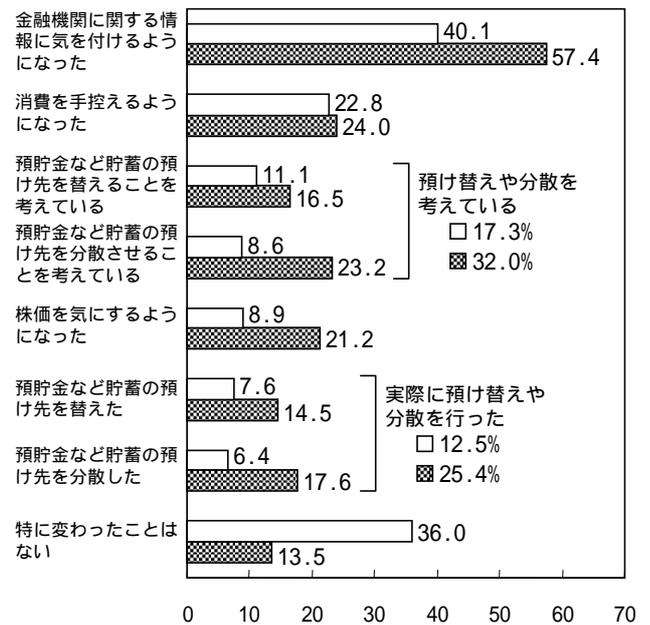
また、世帯貯蓄残高1,000万円以上で、実際に預け替えや分散を行った人は25.4%。これから預け替えや分散を考えている人が32.0%となっている。

（図表）預金保険制度の認知度・世帯貯蓄残高別にみた行動や意識の変化（%）

< 預金保険制度の認知度別 >



< 世帯貯蓄残高別 >



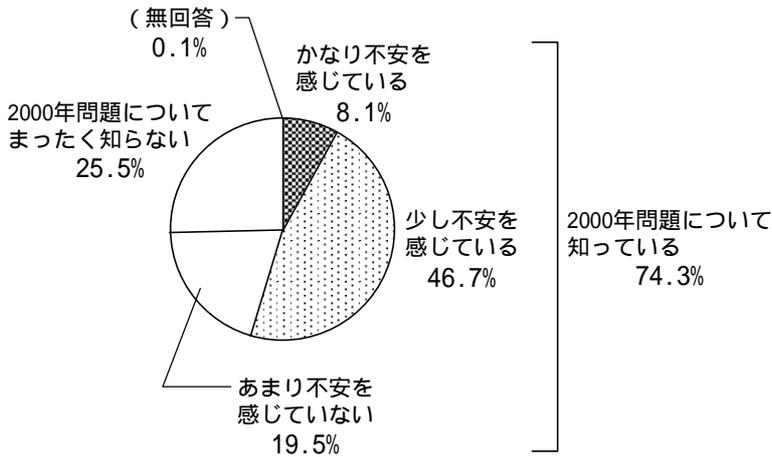
預金保険制度を知らない
 預金保険制度は知っているが、特例措置について知らない
 特例措置は13年3月末が期限であることを知らない
 特例措置は13年3月末が期限であることを知っている

世帯貯蓄残高
 1,000万円未満
 1,000万円以上

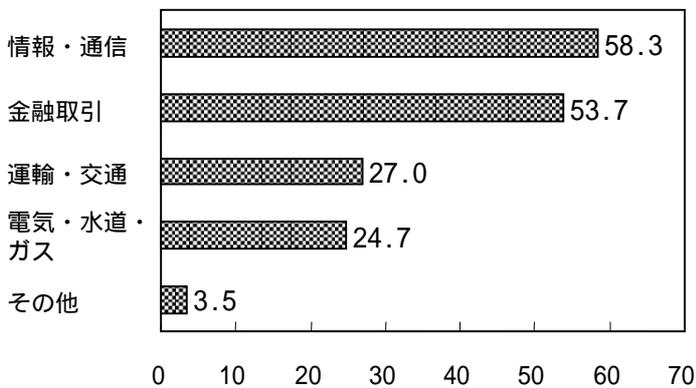
コンピュータ西暦2000年問題

コンピュータ西暦2000年問題について知っている人は4人中3人。また、半数を超える人が、コンピュータ西暦2000年問題に関して何らかの不安を感じている。不安を感じると回答した人に、どんな分野について不安を感じるかを尋ねると、「情報・通信関連」に次いで「金融取引関連」を挙げる人が多い。

(図表) コンピュータ西暦2000年問題の認知度と不安(%)



(図表) コンピュータ西暦2000年問題の不安を感じる分野(%, 2つまでの複数回答)



(調査結果)

生活意識に関するアンケート調査

(注) 太文字の数値は回答比率 % (小数第2位を四捨五入したことや、無回答者を掲記していないことから、単数回答項目について、その構成比は必ずしも100にならない)

問1. 現在、関心を持っている経済問題は何ですか。(は3つまで)

1 景気	74.0	7 金融システム問題	13.6
2 雇用、収入	39.3	8 財政、税金	28.0
3 物価	26.1	9 高齢化、少子化	36.7
4 地価	4.3	10 規制緩和	4.8
5 株価	5.3	11 産業空洞化、国際競争力	5.5
6 金利	29.4	12 その他(具体的に)	1.0

問2. 1年前と比べて、最近の景気はどう変わったと思いますか。(は1つ)

1 良くなっていると思う 2.4	2 変わらないと思う 43.7	3 悪くなっていると思う 53.9
------------------------	-----------------------	-------------------------

問3. そうお考えになるのは、主にどのようなことからですか。(は2つまで)

1 マスコミを通じて	36.5	5 商店街、盛り場などの混み具合	26.6
2 景気関連指標、経済統計を見て	15.3	6 なんとなく漠然と	5.1
3 勤め先や自分の店の経営状況から	43.4	7 その他(具体的に)	1.9
4 自分や家族の収入の状況から	31.7		

(問2で「3 悪くなっていると思う」と答えた方にお聞きします)

問4. 景気に関して、次にあげる中であなたの実感に近いのはどれですか。(はいくつでも)

1 企業の努力などにより、景気は時間が経てばいずれ良くなると思う	21.2
2 不景気になっても、経済や社会の構造を改革するためならやむをえないと思う	18.2
3 不景気だとは言っても、日本の国は豊かになっており、自分の暮らし向きについて言えば生活に困るというほど深刻ではないと思う	28.2
4 不景気はこれまで経験したことがないくらい深刻であり、企業の自助努力などでは対応に限界があると思う	52.2
5 その他(具体的に)	4.1

(全員にお聞きします)

問5. 1年後の景気は、現在と比べてどうなると思いますか。(は1つ)

1 良くなっていると思う 13.0	2 変わらないと思う 72.6	3 悪くなっていると思う 14.3
-------------------------	-----------------------	-------------------------

問6．現在の金利水準に関して、どのようにお考えになりますか。（ は2つまで）

- | | |
|--|------|
| 1 企業の活動が活発になり、景気がよくなることを期待している | 44.5 |
| 2 現在の金利水準でも、景気がよくなることは期待できない | 44.8 |
| 3 預金などから受け取る利子が少なくなっているのがつらい | 51.2 |
| 4 受け取る利子は少なくなっている一方で、物価が安定しており、元本が目減りしないので大きな不満はない | 6.5 |
| 5 住宅ローンなどの借入れをしようと考えている（あるいは、既にしている）ので金利負担が少なく、助かる | 8.3 |
| 6 その他（具体的に ） | 1.8 |

問7．1年前と比べて、あなた（またはご家族）の収入はどうになりましたか。（ は1つ）

- | | | |
|-----------------|--------------------|------------------|
| 1
増えた
7.6 | 2
変わらない
50.7 | 3
減った
41.8 |
|-----------------|--------------------|------------------|

問8．1年後のあなた（またはご家族）の収入は、現在と比べてどうなると思いますか。

（ は1つ）

- | | | |
|--------------------|-----------------------|--------------------|
| 1
増えると思う
7.8 | 2
変わらないと思う
61.1 | 3
減ると思う
30.9 |
|--------------------|-----------------------|--------------------|

問9．1年前と比べて、あなた（またはご家族）の支出をどのようにしていますか。（ は1つ）

- | | | |
|---------------------|--------------------|--------------------|
| 1
減らしている
42.4 | 2
変わらない
51.0 | 3
増やしている
6.6 |
| ↓ | ↓
(問10へ) | ↓ |

（問9で 1 と答えた方にお聞きします）

問9-1a．支出を減らしているのはなぜですか。

（ はいくつでも）

- | | |
|---------------------------------------|------|
| 1 不景気やリストラなどのために収入が頭打ちになったり減ったりしているから | 44.5 |
| 2 将来の仕事や収入に不安があるから | 63.5 |
| 3 今後は年金や社会保険の給付が少なくなるのではないかと不安から | 51.9 |
| 4 住宅ローンを抱える一方で、購入した家などの不動産が値下がりしたから | 6.3 |
| 5 欲しい商品やサービスがあまりないから | 10.5 |
| 6 たまたま大きな支出項目がなかったから | 6.1 |
| 7 なんとなく | 2.2 |

（問9で 3 と答えた方にお聞きします）

問9-1b．支出を増やしているのはなぜですか。

（ はいくつでも）

- | | |
|-----------------------------|------|
| 1 収入が増えているから | 9.1 |
| 2 将来、収入が増えると見込まれるから | 4.3 |
| 3 減税等に伴い、家計の負担が減少したから | 1.4 |
| 4 今後、年金や社会保険の改善・充実等が見込まれるから | 5.7 |
| 5 購入した家などの不動産が値上がりしたから | 1.0 |
| 6 欲しい商品やサービスがあるから | 20.6 |
| 7 たまたま大きな支出項目があったから | 67.9 |
| 8 なんとなく | 6.7 |

(全員にお聞きします)

問 10. 今後 1 年間の支出をどのようにしようと考えていますか。(は 1 つ)

1	2	3
減らそうと思う	現状を維持しようと思う	増やそうと思う
42.9	55.5	1.6

問 11. 政府は、今年から恒久的な減税(最高税率の引下げ、定率減税)を実施する方針ですが、あなたをご存知でしたか。(は 1 つ)

1	2	3
内容まで知っている	聞いたことはある	知らない
10.6	63.5	25.9
		↓
		(問12へ)

(問 11 で 1 または 2 と答えた方にお聞きします)

問 11-1. その減税分はどのように使いますか。(はいくつでも)

1	生活費	47.8
2	耐久消費財(乗用車や家電製品など長持ちする商品)の購入	7.0
3	貯蓄、借金返済	27.7
4	その他(具体的に)	2.5
5	使いみちは特に意識していない	25.5
6	自分にはまったく関係ない	11.1

(全員にお聞きします)

問 12. あなたは、以下のどの項目が実現すれば支出を増やすと思いますか。(はいくつでも)

1	一層の所得税減税	33.3
2	消費税率の引下げ	52.4
3	住宅ローン、教育ローンなどがある人を対象とした政策減税	15.0
4	雇用や収入の不安の解消	43.2
5	金融システム不安の解消	20.0
6	年金改革や財政赤字などに対する指針を示し、国民負担の将来像を明確化する	35.6
7	その他(具体的に)	1.8
8	支出を増やすつもりはない	10.2

問 13. 支出について今のあなたの考え方に特にあてはまるものはどれですか。(は 2 つまで)

1	基本的には、収入が増えれば支出も増えると思う	61.0
2	現在の収入よりも将来の不安があるかないかによって、支出は変わると思う	51.4
3	住宅などの不動産を持っているので、こうした資産の値上がりや値下がりによって、支出は変わると思う	3.8
4	税金や社会保険料によっても手取り収入は変わるので、支出はこれらの影響も受けると思う	34.3
5	買いたいと思わせるような魅力的な商品やサービスがあるかどうかで支出は変わると思う	12.0
6	似たような新商品が次々に登場したり、短期間で価格が大きく変わったりすると、買い時の判断が影響を受けるから、支出は変わると思う	4.2

問14. 先の経済対策で打ち出された地域振興券の配布が始まっていますが、あなた（またはご家庭）は、この「地域振興券」の配布対象ですか。（ は1つ）

1 配布の対象である	2 配布の対象ではない	3 わからない
42.2	55.3	2.5

問15. あなたは、「地域振興券」についてどうお考えですか。（ は1つ）

1 消費支出を増やす効果がある	18.0
2 もともと購入予定であったものの支払いにあてるだけで、消費支出の増加にはつながらない	50.9
3 自分（または自分の家庭）が配布の対象ではないので関心がない	30.7

（問14で「1 配布の対象である」と答えた方にお聞きします）

問16. 地域振興券を受け取った際、どのような使いみちをお考えですか。（ はいいくつでも）

1 おもちゃなどの子供関連	29.8	5 家電製品などの耐久消費財	15.9
2 食料品などの生活必需品	43.6	6 その他（具体的に ）	8.7
3 書籍などの趣味・嗜好品	9.8	7 まだ使いみちは考えていない	20.8
4 旅行などのレジャー関連	4.7		

（全員にお聞きします）

問17. あなたは以下の商品について、近いうちに購入したいとお考えですか。（それぞれ は1つ）

	〔1〕 近いうちに新規購入ないし買い替えをしたいと思っている	〔2〕 新規購入ないし買い替えをしたいとは思っているが、収入面に不安があるので先送りしている	〔3〕 新規購入ないし買い替えの希望はない
(1)自動車	8.2	21.4	70.3
(2)テレビ、ビデオ等の家電製品	10.3	21.6	67.9
(3)家具等の住宅関連商品	6.0	17.3	76.6

問18. 物価についてお聞きします。

1年前と比べて、現在の物価をどのように感じていますか。（ は1つ）

1 かなり下がっている	2 少し下がっている	3 ほとんど前年と変わっていない	4 少し上がっている	5 かなり上がっている
1.4	16.3	57.3	21.6	3.4

問 19 . あなたは、問 18 で物価を考えた際に、主にどのようなものの値段をイメージしましたか。

(は3つまで)

1 食料品の値段	75.9	6 住宅の建設・修繕費や家賃	11.3
2 日用品の値段	51.6	7 旅行やレジャーの値段	10.8
3 電気製品、自動車などの耐久消費財の値段	18.7	8 病院の診察費や薬の値段	23.4
4 交通機関の運賃	15.3	9 学校や教育サービスの値段	6.0
5 電気、ガス、水道料金等の公共料金	27.1	10 その他(具体的に)	1.1

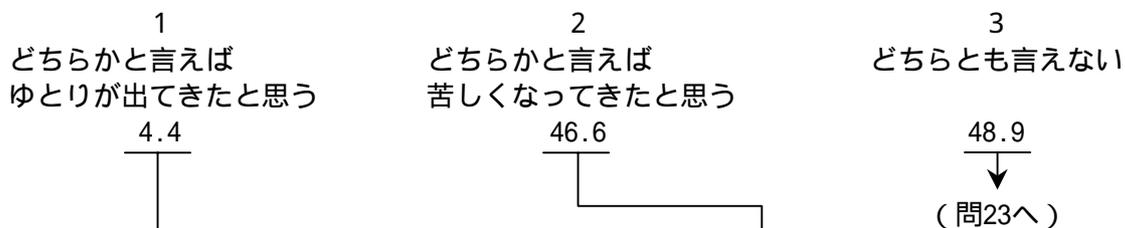
問 20 . 1年後の物価は、現在と比べるとどうなると思いますか。(は1つ)

1	2	3	4	5
かなり下がる	少し下がる	ほとんど今年と変わらない	少し上がる	かなり上がる
0.3	6.7	67.2	24.2	1.6

問 21 . 今後の地価について、どのようなイメージを持っていますか。(は1つ)

1 以前と比べて随分下がったので、そろそろ上昇すると思う	8.4
2 現状程度が適切な水準であり、しばらくはこの程度だと思う	39.9
3 下がったと言っても、依然として高いので、まだ下がると思う	23.1
4 わからない	28.6

問 22 . あなたは、ご自分の暮らし向きについて、1年前と比較してどのようにお感じになっていますか。(は1つ)



(問22で 1 と答えた方にお聞きします)

問22-1a . その理由は次のうちどれですか。(はいくつでも)

1 給与等の定期的な収入が増えたから	44.2
2 利子等のその他収入が増えたから	4.3
3 土地・住宅等の不動産の売却による収入があったから	2.2
4 物価が下がっている、あるいは、安定しているから	10.1
5 扶養家族が減ったから	27.5
6 その他(具体的に)	19.6

(問22で 2 と答えた方にお聞きします)

問22-1b . その理由は次のうちどれですか。(はいくつでも)

1 給与等の定期的な収入が減ったから	63.5
2 利子等のその他収入が減ったから	28.1
3 土地・住宅等の不動産の購入費用がかさんだから	6.7
4 物価が上がっているから	19.9
5 扶養家族が増えたから	9.5
6 その他(具体的に)	14.9

(全員にお聞きします)

問 23 . あなたは、日本の経済の成長力について、どうお考えですか。(は1つ)

- | | | |
|--|--|------------------------|
| <p>1
一時的な振れはあっても、
長い目で見れば、なお成長
を続けられると思う</p> | <p>2
長い目で見ればあまり成長
は期待できないと思う</p> | <p>3
どちらとも言えない</p> |
|--|--|------------------------|

16.8

52.3

30.8

(問24へ)

(問23で 1 と答えた方にお聞きします)

問23-1a . その理由は次のうちどれですか。

(は2つまで)

- | | | |
|---|-----------------|------|
| 1 | 日本がもつ製造技術の優位性 | 62.1 |
| 2 | 日本人の創造力や独自性 | 20.2 |
| 3 | 日本人の勤勉さ | 34.3 |
| 4 | 規制緩和や構造改革の進展 | 20.2 |
| 5 | 女性や高齢者の労働力化の進展 | 13.6 |
| 6 | コンピューターなど情報化の進展 | 28.7 |
| 7 | その他(具体的に) | 1.3 |

(問23で 2 と答えた方にお聞きします)

問23-1b . その理由は次のうちどれですか。

(は3つまで)

- | | | |
|---|----------------------|------|
| 1 | 日本がもつ製造技術の優位性の
後退 | 20.3 |
| 2 | 日本人の創造力や独自性のなさ | 16.4 |
| 3 | 日本人の勤勉さの低下 | 22.3 |
| 4 | 規制緩和や構造改革の遅れ | 29.6 |
| 5 | 高齢化・少子化 | 53.9 |
| 6 | 環境・エネルギー問題 | 25.5 |
| 7 | 金融システム問題 | 33.0 |
| 8 | 財政問題の深刻化 | 52.9 |
| 9 | その他(具体的に) | 2.9 |

(全員にお聞きします)

問 24 . 暮らし向きと経済成長について、以下の考え方がありますが、あなたのお考えはA、Bのどちらに近いですか。(は1つ)

	1 どA ちに ら近 かい と 言 え ば	2 ど言 ちえ らな とい も	3 どB ちに ら近 かい と 言 え ば	
A				B
生活レベルがまだまだ低いので、生活レベルの向上のためにも、ある程度の経済成長を続けることが必要だ	35.6	45.3	19.0	生活はある程度豊かになったことなどを考えると、今後はさほど経済成長を続ける必要はない

問 25 . あなた(またはご家族)の勤め先の経営、あるいは、あなた(またはご家族)が営んでいる事業に不安を感じていますか。(は1つ)

- | | | | |
|---|---------------------------------------|--|--------------------------------------|
| <p>1
あまり不安を
感じていない
14.6</p> | <p>2
少し不安を
感じている
50.4</p> | <p>3
かなり不安を
感じている
26.6</p> | <p>4
自分も家族も
関係ない
8.5</p> |
|---|---------------------------------------|--|--------------------------------------|

問 26 . あなた（またはご家族）のところでは、給与や人員の抑制・削減といった合理化、リストラがここ1年くらいの間に行われましたか、あるいは今後予定されていますか。（ は1つ）

1	2	3	4
行われた	まだ行われていないが、 今後行われる予定である	行われていないし、今後 行われる予定もないと思う	わからない
27.9	17.0	24.0	31.1
↓		↓	
		（問27へ）	

（問26で 1 または 2 と答えた方にお聞きします）

問26-1 . 具体的には、どのようなことが実施されましたか、あるいは予定されていますか。（ はいくつでも）

1	時間外労働の削減	40.9
2	給与カットや賃金制度の見直し	51.5
3	新卒採用の抑制	31.3
4	出向や早期退職勧奨などによる人員の削減	36.4
5	ポストの削減や組織の改革	24.9
6	人事、資格制度の見直し	19.6
7	その他（具体的に ）	2.9
8	予定されているが、具体的にはわからない	5.9

（全員にお聞きします）

問 27 . あなた（またはご家族）の勤め先での雇用・処遇（給与、昇格、福利厚生など）に不安を感じていますか。（ は1つ）

1	2	3	4
あまり不安を 感じていない	少し不安を 感じている	かなり不安を 感じている	自分も家族も 関係ない
16.1	48.5	22.8	12.5

問 28 . あなたのご家族のなかで、就職・再就職を考えている方は（あなた自身を含めて）いらっしゃいますか。（ は1つ）

1	2
いる	いない
30.4	69.6
↓	↓
	（問29へ）

（問 28 で 1 と答えた方にお聞きします）

問28-1 . あなた（またはその方）の就職・再就職に不安を感じていますか。（ は1つ）

1	あまり不安を感じていない	7.2
2	少し不安を感じている	37.0
3	かなり不安を感じている	55.8

(全員にお聞きします)

問 29 . 住宅 (マイホーム) に関して、あなたはどのようにお考えですか。すでにマイホームをお持ちの方も、ご自身の考え方を答え下さい。(は 1 つ)

- | | | |
|---|---|------|
| 1 | やはり自分の家、土地を持ちたいと思う | 65.2 |
| 2 | 持ち家にこだわらないので、賃貸住宅に住み続けてよいと思う | 7.5 |
| 3 | 親と同居している (今後する予定である) ので、自分で家を持つことを特に意識していない | 12.7 |
| 4 | いずれとも言えない | 14.4 |

問 30 . 政府は、景気対策の一環として、今年と来年に新しいマイホームに住み始める方に限り、これまでよりも住宅ローン減税全般を拡充する方針ですが、あなたをご存知ですか。(は 1 つ)

1	2	3
内容まで知っている	見聞きしたことはある	まったく知らない
14.6	57.0	28.2

問 31 . マイホームなどの購入・買い替えを具体的に計画していますか。(は 1 つ)

1	2	3	4
いまのところ購入・買い替えの計画はない	はじめてマイホームを購入する計画がある	買い替えの計画がある	セカンドハウスを購入する計画がある
90.0	3.6	5.2	1.0

(問31で 1 と答えた方にお聞きします)

問31-1a . どのような条件が満たされれば購入・買い替えをしてもよいと思えますか。(はいいくつでも)

- | | | |
|---|--------------------------------------|------|
| 1 | 住宅価格、地価が低下すれば | 18.9 |
| 2 | 住宅ローン金利が低下すれば | 10.4 |
| 3 | 雇用・収入などの不安がなくなれば | 24.3 |
| 4 | 住宅ローン返済分を所得から控除するなど、一層の税制面の支援策があれば | 14.4 |
| 5 | 自分の考える条件 (広さや環境、通勤時間など) にあった物件があれば | 15.1 |
| 6 | その他 (具体的に) | 6.2 |
| 7 | どうしても購入や買い替えは考えられない | 53.0 |

(問31で 2 ~ 4 と答えた方にお聞きします)

問31-1b . いつごろ購入・買い替えをしようと計画していますか。(は 1 つ)

- | | | |
|---|-----------------|------|
| 1 | 今年中 | 23.1 |
| 2 | 来年中 | 9.1 |
| 3 | 再来年以降 | 13.0 |
| 4 | 時期についてはまだ考えていない | 54.7 |

(全員にお聞きします)

問 32 . あなたの家計全体のバランスについて、以下の中から最も近い感じのものをお選び下さい。

(は 1 つ)

- | | | |
|---|---|------|
| 1 | 住宅ローン等の借入はほとんどなく、一方で資産 (持家もしくは金融資産等) はそこそこあるので、資産と負債のバランスに関する不安はない | 54.2 |
| 2 | 住宅ローン等の借入があるものの、資産 (持家もしくは金融資産等) の値下がりはそれほど大きくないため、資産と負債のバランス面で大きな不安は抱えていない | 22.5 |
| 3 | 住宅ローン等の借入がある一方、資産 (持家もしくは金融資産等) の値下がり激しく、資産と負債のバランスが崩れて不安を抱えている | 19.3 |

問 33 . あなたは金融機関経営や金融システム問題にどの程度関心がありますか。(は1つ)

1	2	3
非常に関心がある	それなりに関心がある	あまり関心がない
12.8	55.9	31.2

問 34 . 最近における金融機関の経営破綻から、あなたは何をお感じになりますか。(は2つまで)

1	金融機関に預けてある自分の貯蓄が大丈夫かどうか不安だ	45.0
2	自分の仕事や収入の面にも悪い影響が出るのではないかと不安だ	44.2
3	自分の生活には特に影響はないと思う	29.8

問 35 . 最近の金融不安・金融機関破綻のニュースを聞いてあなたの行動はどう変わりましたか。

(はいくつでも)

1	預貯金など貯蓄の預け先を替えた	8.9
2	預貯金など貯蓄の預け先を替えることを考えている	12.3
3	預貯金など貯蓄の預け先を分散した	8.7
4	預貯金など貯蓄の預け先を分散させることを考えている	11.6
5	金融機関に関する情報に気をつけるようになった	43.6
6	消費を手控えるようになった	22.8
7	株価を気にするようになった	11.2
8	特に変わったことはない	31.6

問 36 . 預金には預金者保護のために、原則として1金融機関につき、預金者一人当たり元本1,000万円まで保険がかけられていることをご存じですか。(は1つ)

1	2	3
内容まで知っている	見聞きしたことはある	まったく知らない
15.4	41.3	43.2

問 37 . 預金者保護のための特例として、現在、1,000万円を上回る元本部分や金利分を含めて預金の全額が保護されることをご存知ですか。(は1つ)

1	2	3
内容まで知っている	見聞きしたことはある	まったく知らない
9.9	37.0	53.1
↓		↓
		(問38へ)

(問 37 で 1 または 2 と答えた方にお聞きします)

問37-1 . この預金者保護のための特例が、2001年3月末までを期限としていることをご存知ですか。(は1つ)

1	知っている	44.4
2	知らない	55.5

(全員にお聞きします)

問 38 . 金融の自由化などに関する次の(1)～(3)の意見について、あなたのお考えはA、Bのどちらに近いですか。(はそれぞれ1つ)

		1 どA ち に ら 近 か い と 言 え ば	2 ど 言 ち え ら な い も	3 ど B ち に ら 近 か い と 言 え ば		
		A			B	
(1)	金融商品の選択の範囲が広がり、金融機関の経営も効率化されるので、さらに自由化を進めるべきだ	26.3	44.7	28.7	金融商品が複雑になるとついていけず、競争で金融機関の経営も不安定になるので、ほどほどにして欲しい	
(2)	自分で選んだ金融商品や金融機関については、自分で責任を持つのは当然だ	28.8	38.9	32.1	自分で選んだ金融商品や金融機関だから自分で責任を持って、と言われても困る	
(3)	金融機関は、公共的な役割をもった特殊な存在である	27.5	40.0	32.3	金融機関も一般の企業と同じで、特殊な存在ではない	

問 39 . あなたは、「西暦 2000 年問題」を知っていますか。(は1つ)

1	2	3
内容まで知っている	見聞きしたことはある	まったく知らない
21.9	52.5	25.5
↓		
(F 1 へ)		

(問 39 で 1 または 2 と答えた方にお聞きします)

問39-1 . あなたは、「西暦2000年問題」について不安を感じていますか。(は1つ)

1	かなり不安を感じている	10.9
2	少し不安を感じている	62.8
3	あまり不安を感じていない	26.3

(問 39-1 で 1 または 2 と答えた方にお聞きします)

問39-2 . どんな分野について、不安を感じていますか。

(は2つまで)

1	電気・水道・ガス関連	24.7
2	運輸・交通関連	27.0
3	情報・通信関連	58.3
4	金融取引関連	53.7
5	その他(具体的に)	3.5

(全員にお聞きします)

最後に、あなたご自身のことやお宅のことについておうかがいします。
 [立ち入ったことも含まれていますが、調査結果を分析するために使いますので、さしつかえなければお答えください。]

F 1 . あなたの性別は。

1 男 49.5	2 女 50.5
----------------	----------------

F 2 . あなたの年齢は。(満年齢でお答えください。)

1 20～29歳 13.0	2 30～39歳 15.9	3 40～49歳 22.1	4 50～59歳 22.2	5 60～69歳 17.5	6 70歳以上 9.2
---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	-------------------

F 3 . 結婚していらっしゃいますか。

1 既婚 (配偶者あり) 76.7	2 既婚 (配偶者と離別・死別) 8.5	3 未婚 14.7
---------------------------	------------------------------	-----------------

F 4 . あなたのご職業は。パート勤めの方は勤め人としてお答えください。(1 つ)

自 営 業 家 族 従 業 者	}	1 農林漁業 3.4 2 商工・サービス業 11.1 3 自由業 2.0	勤 め 人	}	4 管理職 6.0 5 専門技術職・教員 8.4 6 事務職 10.3 7 労務職 10.6 8 販売・サービス職 7.8 9 主婦(パート勤め) 8.6	無 職 者	}	10 専業主婦 14.4 11 学生 1.7 12 年金・恩給生活者 11.6 13 その他無職 3.9
		16.5			51.8			31.7

(注) パート勤めの主婦の方は、9 に、それ以外のお勤めの方は 4 ～ 8 のいずれか 1 つに をつけてください。

(F 4 で 1 ～ 10 と答えた方にお聞きします)

F 4-1 . あなたのお仕事あるいは勤め先の業種は何ですか。主婦 (パート勤め) あるいは専業主婦の方は、ご主人の勤め先の業種についてお答えください。

1 農林漁業 6.4	6 金融・保険業 3.5
2 製造業 21.3	7 電気・ガス・水道業 2.3
3 卸・小売業、飲食店 14.3	8 サービス業 22.6
4 運輸・通信業 6.6	9 公務員 9.7
5 建設・不動産業 11.4	10 その他 (具体的に) 1.7

(全員にお聞きします)

F 5 . 主としてお宅の生計を支えていらっしゃるのはあなたですか。

(夫婦で同じ程度という場合などは、「1 はい」にをつけてください。)

1	2
はい	いいえ
54.5	45.3

F 6 . あなた(および配偶者)の昨年1年間の収入(税込み)は、次のどの区分に入りますか。
(ただし、退職金や土地の売却代金など一時的な収入は除いてください。)(は1つ)

1 収入はない	6.1	4 1,000万円~1,500万円未満	7.6
2 500万円未満	52.5	5 1,500万円以上	1.8
3 500万円~1,000万円未満	30.2		

F 7 . あなた(および配偶者)は収入(生活費)をどのようなかたちで得ていますか。
以下から、あてはまるものをお選びください。(はいいくつでも)

1 給料(賃金)	73.3	6 株式などの配当や運用益	1.8
2 事業からの収益	11.2	7 預金など貯蓄の取り崩し	5.3
3 アパートなどの不動産からの賃貸料	3.9	8 家族や国などからの援助	2.9
4 年金	22.9	9 その他(具体的に)	0.3
5 利子収入	1.7	10 収入はない	2.0

(F 8 へ進む)

(F 7 で 1 ~ 9 のいずれかを答えた方にお聞きします)

F 7-1 . 前問で、あなたが おつけになったものの中で、最も金額の多いものを1つ選んでください。
(は1つ)

1 給料(賃金)	69.8	6 株式などの配当や運用益	0.0
2 事業からの収益	9.1	7 預金など貯蓄の取り崩し	1.2
3 アパートなどの不動産からの賃貸料	1.3	8 家族や国などからの援助	1.4
4 年金	17.1	9 その他(具体的に)	0.1
5 利子収入			

(全員にお聞きします)

F 8 . あなた(および配偶者)の貯蓄残高は、次のどの区分に入りますか。事業目的のものを除いた預貯金、信託、保険、株式、債券、投信などの合計額でお答えください。なお、生命保険、損害保険、共済については掛け捨て型のものを除いてお答えください。(は1つ)

1 貯蓄はない	16.7	4 1,000万円~2,000万円未満	10.7
2 500万円未満	43.5	5 2,000万円以上	8.8
3 500万円~1,000万円未満	17.2		

F 9 . あなた(および配偶者)の借入残高は、次のどの区分に入りますか。(は1つ)
(注)クレジットカードを利用しての買い物や事業目的の借入れは除きます。

1 借入金はない	58.3	4 1,000万円~2,000万円未満	7.6
2 500万円未満	19.2	5 2,000万円~5,000万円未満	5.8
3 500万円~1,000万円未満	6.7	6 5,000万円以上	0.7

F 10 . 現在一緒に住んでいるご家族の構成は。(は1つ)

1	1人住まい世帯	5.9	4	親と子と孫の3世代世帯	17.0
2	夫婦だけ世帯	22.7	5	その他(具体的に)	1.9
3	親と子の2世代世帯	52.3			

(F 10 で 3 または 4 と答えた方にお聞きします)

F 10-1 . 世帯の中であなたが位置する世代は。(は1つ)

1	2	3
親世代	子世代	孫世代
58.4	38.4	2.2

(全員にお聞きします)

F 11 . あなた(またはご家族)のお住まいは次のどれにあたりますか。複数ある場合は、あなた自身が生活の拠点としているお住まいについてお答えください。(は1つ)

1	土地付き持ち家	70.9	4	借家	6.2
2	持ち家のマンション	4.2	5	賃貸マンション・アパート	11.7
3	借地持ち家	3.6	6	社宅、官舎、寮	3.4

F 12 . あなたは、マスコミの金融、株式に関する報道を熱心に見るほうですか。(は1つ)

1	2	3
熱心に見る	あまり見ない	まったく見ない
25.3	60.2	14.4